

【特集】

正しく恐れ、
正しく備える **南海トラフ地震**

【特集】

この夏をチカラに変えて
進め小林の子どもたち

水が
つんとど!

**夏の思い出、
一生の宝物。**



国際交流員 オストワルド・ロバート さん (31)

東ドイツのオーデル川付近にあるフランクフルト生まれ。人口約5千人の町ゼーロウで18歳まで過ごした後、ベルリン自由大学や東京外国語大学で、言語を含む日本文化について学んだ

言葉や文化の違いを多くの人に知ってほしい

「出会う人たちが皆優しく、温かいです。そしてドイツと比べると湿度が高くとても暑く感じますね」。

小林市の印象を笑顔で話すのは8月7日に国際交流員に着任したオストワルド・ロバートさん。

多文化共生イベントの企画や市内に住む外国人への情報発信などの業務を、前任のアントニア・シュルトさんから引き継ぎました。

幼少期から日本のアニメやゲームに触れるなど、日本に興味があったと話すロバートさん。国際交流員になったきっかけは、7年前の日本旅行でした。

「アニメで見た日本と現実では全然違う。人がとても多いのに整理されている道路や電車にもびっくり」。驚きの連続だった初来日で日本への興味は深まり、日本について勉強することを決意。その後、約6年間

ベルリン自由大学や東京外国語大学で日本語や日本文化について勉強しました。

小林市に行くことが決まり、「調べてみても、農業や畜産が盛んな地域」ということしか分からず不安もあった」と振り返ります。

着任から約1カ月、生活に慣れてきたロバートさんの最近の楽しみは、大好きな牛肉を食べること。

「ここで食べるお肉はとてもおいしい。幸せです」。地域を知ること、国際交流員としての活動も少しずつ進み始めています。

「ドイツを代表し、小林市の国際化を進めることが私の役目。クリスマスマーケットやオクトーバーフェストなどのドイツを代表する祭りの企画も行いたい」。世界と小林市の架け橋を目指して、ロバートさんの活動が、いよいよ始まります。

料理を作ることや、たくさん食べることが趣味だと話すロバートさんが作った、※シュニッツェルとほうれん草のバスタ

※仔牛のヒレ肉や赤身肉を叩いて薄く伸ばし、衣をつけて焼いたもの



身長180cmのロバートさん。「背が高くて初めて見た人は怖く感じるかもしれませんが、見かけたら優しく声をかけてください」と笑顔で話す



市政の動きトピックス

国際化・多文化共生の推進に尽力

国際交流員シュルトさんが 5年間の活動を報告



7月31日、ドイツ出身の国際交流員アントニア・シュルトさん（愛称トニーさん）の退任に伴う報告会がありました。シュルトさんは、市内小学校等を訪問し子どもたちと交流するなど、国際理解の推進に貢献。外国人市民向けの防災や新型コロナに関する情報発信、国際化推進イベントの企画など、5年間にわたり精力的に活動してきました。今後は国際化推進コーディネーターとして、引き続き国際化・多文化共生推進に尽力いただきます。

姉妹都市「石川県能登町」を支援

長期災害派遣中の土木技師が 被災地や業務の状況を報告



8月13日、姉妹都市「石川県能登町」の災害復旧支援のため派遣中の本市職員尾山直人主幹と井之上景也主任技師が、市長に中間報告を行いました。2人は令和6年能登半島地震で被害を受けた能登町の要請で令和7年3月末までの予定で派遣されており、道路などの復旧業務に従事。現地は災害復旧箇所が膨大で、復旧にはまだまだ長い年月とマンパワーが必要との報告がありました。

CONTENTS

広報こばやし
No. 222

2024 September

9

- 02 市政の動きトピックス
- 03 小林人／国際交流員
オストワルド・ロバート さん
- 04 特集／正しく恐れ、正しく備える
南海トラフ地震
- 06 特集／この夏をチカラに変えて
進め小林の子どもたち
- 11 こばやし Topics
- 16 特集／小林市の若手農業者グループ
小林市 SAP 会議を知っていますか？
- 17 特集／循環型農業を目指して
野尻町有機センターの役割
- 18 おしらせ
- 20 暮らしのカレンダー
- 22 教育委員会からのお知らせ／
きずな協働体通信
- 24 手話で話そう！／健幸のまちづくり拠点
施設整備つつしん／元気の知恵袋
- 25 図書館からのお知らせ／こばまち便り
- 26 Instagram& 広報こばやし／市長コラム
- 27 心の花びら／SUKUSUKU／こすも〜日記

今月の表紙

夏の思い出、一生の宝物。



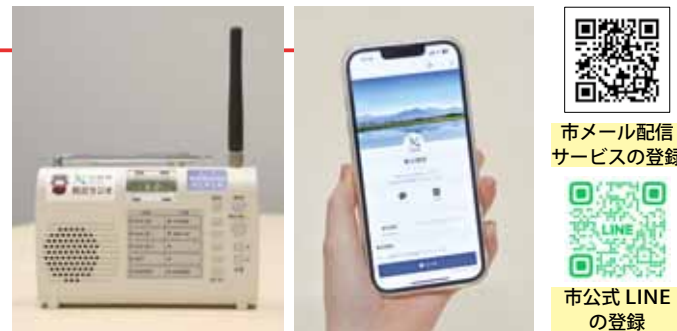
今月の表紙は、7月27日に開設された、すきむら河川プールの様子です。当日は小林青年会議所主催のイベントも開催。多くの子どもたちが魚のつかみ取りや水中宝探しなどを楽しみました。プールは8月20日まで開設され、約3千人が訪れるなど大盛況となりました。

小林人
こばやしびと
Vol.123

南海トラフ地震臨時情報とは

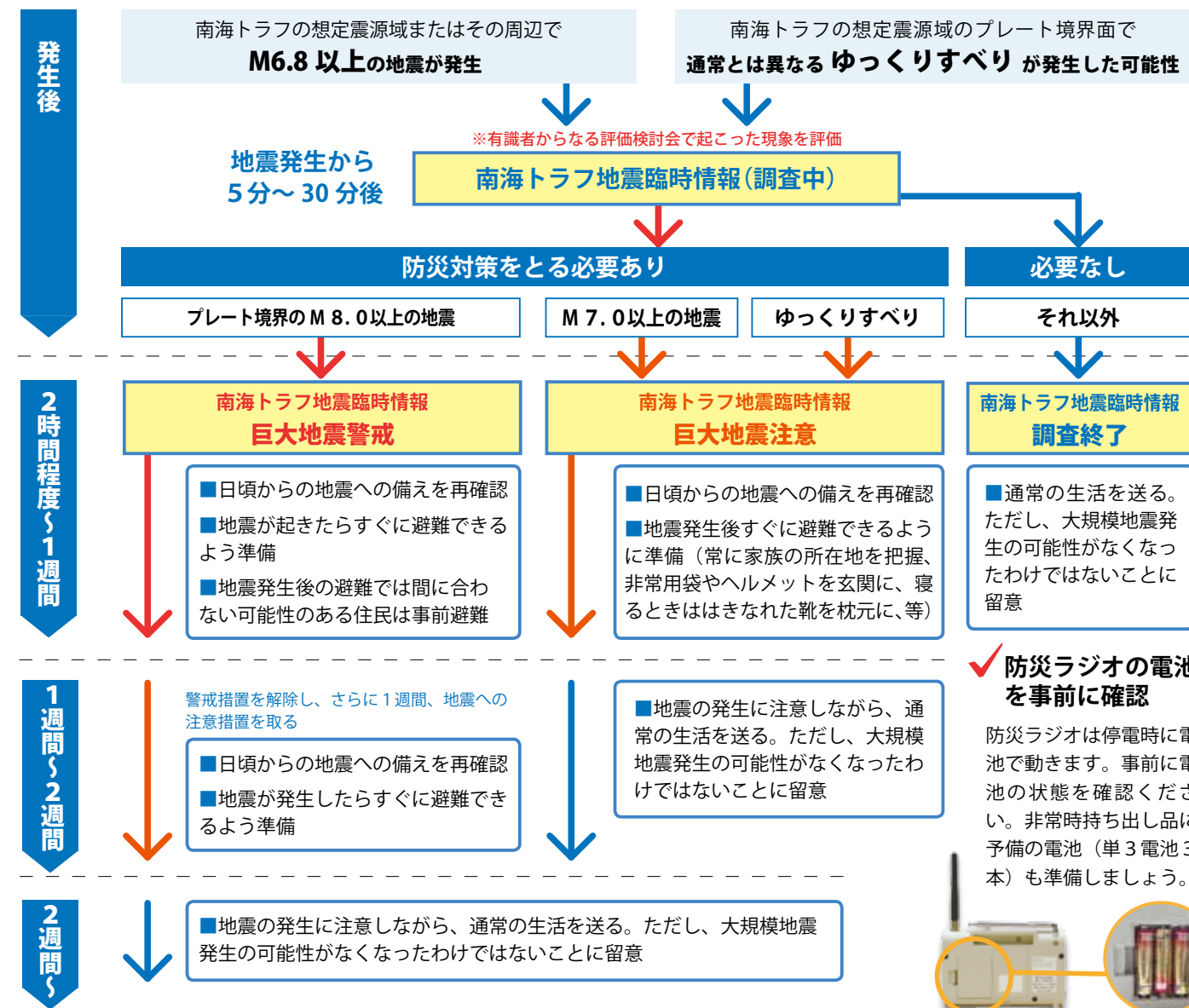
「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ地震発生可能性が**通常と比べて相対的に高まった**と評価された場合に気象庁から発表されます。8月8日の地震では、初めて「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発表されました。

情報が発表された際は、それぞれの内容に応じて必要な防災対策をとってください。防災情報は、市メール配信サービスや防災ラジオ、市公式 LINE で随時お知らせします。



市メール配信サービスの登録

市公式 LINE の登録



災害に対する「備え」をお願いします

地震に限らず、大雨、台風、火山噴火、竜巻など、災害は突然襲ってきます。そのとき、自分の身を守るのは「備え」です。

たんすや食器棚などの家財道具の耐震対策や食料や飲料水など生活に必要な物資の備蓄、避難経路の確認、家族や近所の方に自分の居場所を伝えておくなど、まずは自分が助かるための「備え」が必要です。自分が助からないと、他の方を助けることはできません。

お住いの地域の自主防災活動に積極的に参加し、防災の知識や技術を身につけ、災害に「備え」ましょう。

危機管理課
はまざき くにひろ
濱崎 一博 主幹

正しく恐れ、
正しく備える

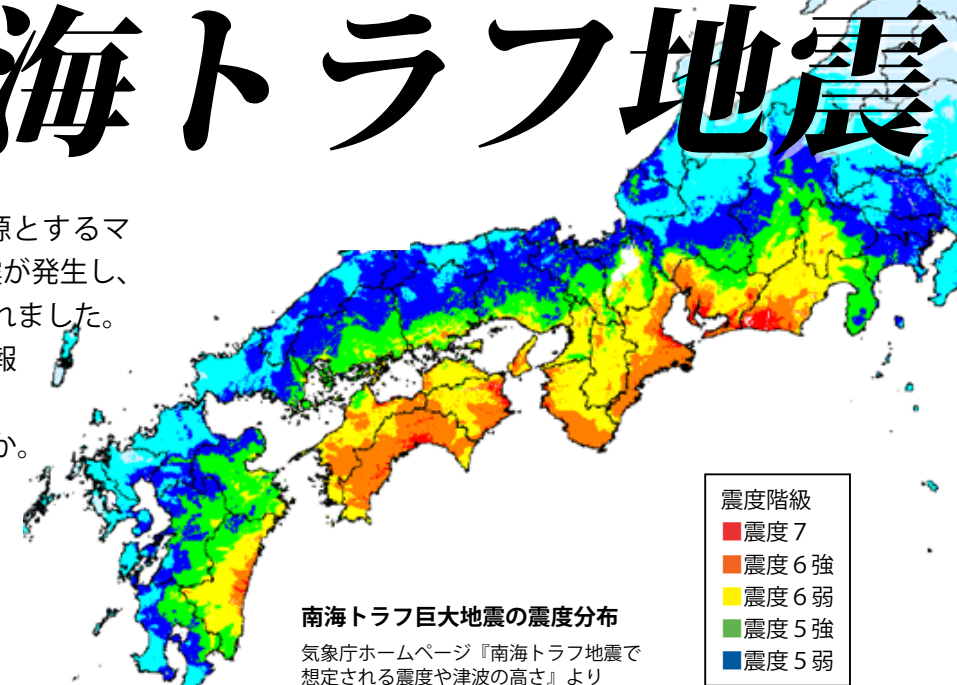
南海トラフ地震

8月8日16時43分頃、日向灘を震源とするマグニチュード7.1、最大震度6弱の地震が発生し、本市でも震度5弱の大きな揺れが観測されました。

同日、気象庁が南海トラフ地震臨時情報を初めて発表。耳慣れない発表に不安を感じた人も多かったのではないのでしょうか。

まずは南海トラフ地震について改めて知り、慌てずあせらず、南海トラフ地震に備えましょう。

●問＝危機管理課 Tel 23-1175



そもそも南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震。これまで100～150年の周期で大きな地震が発生しており、M8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%とされています。

南海トラフ地震が発生すると、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7、隣接する周辺の広い地域では震度6強～6弱の強い揺れになると想定されています。（小林市内の大部分は震度6弱の想定）

また、太平洋沿岸の広い地域に10m超の大津波の襲来が想定されています。



南海トラフ巨大地震想定震源域（大阪管区気象台ホームページ『南海トラフ地震特設ページ』より）

水・食料の備蓄は無理のない範囲で

備蓄は、発災から最低3日（できれば1週間）生活できることが目安。長期保存水や保存食を購入する以外にも、水道水を飲用水として保存したり、日常で食べる食品を保存する方法もあります。無理なく上手に備蓄しましょう。

日常食品を災害時にも活用

「非常食」に加え、普段の食品で災害時にも使えるものを少し多めに買い置きし、食べた分を買い足す「ローリングストック」で、無理なく食料を備蓄しましょう。

！災害直後は炭水化物ばかりになりがち 必要な栄養が不足し体調不良になることも…

エネルギー源となる炭水化物はとても重要ですが、栄養バランスを考慮しないと、体調不良や病気になる可能性があります。また、野菜不足でビタミン、ミネラル、食物繊維などがとれず、便秘や口内炎などに悩んだという声も。

✓タンパク質摂取は缶詰がおすすめ

ツナやサバなどの缶詰や、コンビーフや焼き鳥など肉類の缶詰は長期保存ができるうえ、手軽にタンパク質をとることができます。



✓必要な栄養が取れる野菜を常備

じゃがいもや玉ねぎなど、日持ちする野菜を日頃から多めに買い置きしましょう。野菜ジュースやドライフルーツなどもおすすめです。



水道水を飲用水として保存

水道水は塩素で雑菌等の繁殖を押さえるため、常温で3日、冷蔵庫で10日程度飲用水として保存できます。※煮沸した水や浄水器を通した水は残留塩素がなくなり消毒効果もなくなるため、保存には向かないことに注意

- 1 細菌が入らないよう、手をよく洗う
- 2 空気が残らないよう容器に満水になるまで水を入れて栓をする
- 3 日光の当たらない、涼しい場所に保管する

※開栓後はなるべく早く使用
※飲用時は可能であれば煮沸する

その他の防災対策は 広報こばやし6月号をチェック

6月号の防災特集（3～7頁）では、家具の固定や耐震化などの地震対策や、備蓄品のチェックリストを掲載しています。あわせてご確認ください。

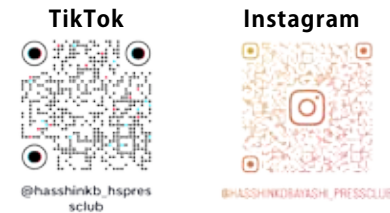




市内の高校生 50 人を高校生記者に任命 若者の目線・感性でまちの魅力ハッシンに挑戦



研修では、実例を交えながら“バズる”動画の作り方を教わった後、実際にその場で撮影した動画を編集するなど制作のコツを教わりました



Instagramに加え、今年からTikTokも運用します。ぜひフォローください

高校生らしい目線や感性でまちの魅力を再発見し、若い世代へ発信する「ハッシンコバヤシ!!高校生記者クラブ」の第3期が始動しました。令和4年度から続くこの取り組み。高校生のキャリア教育や郷土愛醸成にもつながると、さまざまなメディアにも取り上げられるなど注目を集めています。

3年目となる今年は、市内3つの高校の1・2年生50人を高校生記者に任命。7月26日にTEAMAMU交流スペースで開かれた任命式で、記者の証である腕章を授与しました。



新たな視点で小林の魅力ハッシン
小林秀峰高校2年 尾園莉奈さん



小林市について学びSNSでPRしたい
小林西高校1年 中原亜莉寿さん

この夏をチカラに変えて 進め小林の子どもたち

パリ 2024 オリンピックに沸いた今年の夏。
取材先で、競技に挑むアスリートにも負けないくらい
真剣に「学び」と向き合う小林の子どもたちと出会いました。
子どもたちが、考え、挑戦する姿を、写真やインタビューでお届けします。



経験通じ、将来へのイメージを広げたい
小林高校2年 築地ひなさん



photo6 ギフトラッピングのお仕事体験。ペーパーやリボンを使ってお菓子ブーケが完成 7 プログラマーのお仕事体験。プログラミングでゲームを制作 8 アナウンサー・声優のお仕事体験。声の抑揚の付け方などを教わりナレーションに挑戦 9 お花屋さん（フラワーデザイナー）のお仕事体験。バランスよくお花を生けていく 10 薬剤師のお仕事体験。処方箋に基づいて患者さんへ薬を処方

photo1 こども議会の参加者。小学2年生から中学3年生まで幅広い学年の子どもたちが集まった 2・3 メンターの助けを借りながら、アイデアをまとめていく。「空き家を活用して子どもの学習スペースや遊び場にする」、「子ども同士で定期的に意見交換できる場をつくる」などグループごとにさまざまな意見が出された 4・5 まとめた法律（ルール）を大人や他のグループの参加者に説明

～学びの1週間～

楽しみながら社会の仕組みを学ぶ 11のブースで小・中学生が仕事を体験

興味のある仕事に挑戦
お仕事体験イベント

8月4日には、「学びの1週間」の一環で、小・中学生がさまざまな仕事を体験できる「キッズタウンTENAMU」（小林商工会議所主催）が開催。

会場には、地元企業などによって、銀行員、プログラマー、薬剤師などの仕事ができる11のブースが設置されました。

子どもたちは興味のある職業のブースを選び、銀行窓口でお金の入金や支払いを体験したり、ゲームのプログラミングに挑戦するなど、さまざまな仕事を体験。

仕事を終えた子どもたちは、最後にお給料（商品券）を受け取り、仕事の楽しさや大変さを学びました。

このほか、「学びの1週間」では、音楽に合わせて体を動かし表現力を育むリトミック教室や起業家による講演など、多様な学びの場が設けられました。

イタリアンのコックの仕事体験



④ 和田 渉夢 さん（南小5年）
料理が好きで料理人の仕事に興味があります。完成した料理を、一緒に来たおばあちゃんにおいしく食べてもらえてよかったです。

⑤ 坂上 希恵 さん（紙屋小4年）
将来家族ができたときに料理ができたらいと思い参加しました。玉ねぎを剥くのに苦戦しましたが、おいしい料理ができました。

美容師の仕事体験



⑥ 田中 杏樹 さん（三松中2年）
将来の夢は美容師です。カットするときのハサミの動かし方が難しかったですが楽しかったです。将来の夢につながる経験になりました。

体験の様子を見守った
⑦ 田中 沙織 さん
美容師は技術だけでなく気配りも必要な仕事なのだと感じました。今回の経験が将来の夢への意欲につながってくれたらと思います。

～学びの1週間～

「こどもまんなか社会」実現のためのルールを 学校・学年が違う仲間と一緒に考える

小・中学生27人が参加
「こども議会」

子どもたちの学びを後押ししようと1週間にわたりさまざまなキャリア教育プログラムが開催された「学びの1週間」（絆を結ぶ物語）実行委員会主催。

初日の8月3日には、市内小学2年～中学3年生27人がTENAMU交流スペースに集まり、「こども議会」が開かれました。

テーマは「こどもまんなか社会を作るためのルール」。

いろいろな意見があることを知れました

「こどもまんなか」という言葉が気に入り、おもしろそうだと思って参加しました。話し合いでは、他の人が持っているいろいろな意見や自分とは違った意見を知ることができました。休憩中などにグループの人と話したことも楽しかったです。

三松小学校5年 大平落 幸 さん

未来を創っていくのは子どもたち 今回のような機会が広がってほしい

子どもたち自身が未来志向で一つのテーマを考えるワークショップのようなものは、高知県も含め地方にはなかなかありません。立場の違う人と話し合うことは、子どもたちにとって新鮮な経験だったと思います。このような場が1回で終わらず広がっていけば「こどもまんなか社会」に近づいていくのではないかと思います。



高知県の高校教諭
いしまる こうき
石丸 滉貴 さん

「こどもまんなか社会」を実現するためのルールを、子どもたちが大切にするための法律（ルール）やそれを守ることによってどんな社会になるか子どもたち自身が想像し、話し合いました。

メンター※として参加した大人のサポートを受けながらまとめた法律は、「コバツ基本法」や「こどもスマイル法」などと名付けられ、後半では、法律の内容を大人や他のグループへ説明するプレゼンテーションにも挑戦しました。

※自身のキャリアをもとに助言・指導し、グループ全体の成長を促しサポートする役割

市民活動支援センター文化祭開催 体験型イベントなどでにぎわう

7月28日、市民活動支援センター文化祭体験フェスが開かれました。同文化祭は、センターに登録する団体の活動を広く知ってもらおうと開催されたもので、今回で2回目。工芸体験などができるブースや演奏や人形劇などのステージイベント、野菜や工芸品の販売など、さまざまな催しが開催され、多くの来場者でにぎわいました。



竹細工同好会の会員に竹の風車の作り方を教わる子どもたち。この他にも、茶道や小物製作、陶芸体験など、さまざまな体験ブースが設けられました

西諸支部消防操法大会で 第1分団第5部が見事優勝

7月28日、西諸支部消防操法大会がコロナ禍などを挟み6年ぶりにえびの市の水辺の楽校で開催されました。本市からは、7月7日の市消防操法大会ポンプ自動車の部で優勝した第1分団第5部（真方地区等）が出場。猛烈な暑さの中の大会となりましたが、団員は練習の成果を十分に披露して見事優勝を果たし、県大会出場を決めました。



気温30度を越える暑さの中でも、指揮者の号令に従い規律の取れた見事な動きを披露した団員たち。次は8月24日に開催される県大会に出場します

地域連携で夏休みの思い出づくり 三松地区の祭り「ナイトイン三松」

7月20日、三松小学校でナイトイン三松が開催されました。児童や保護者と地域、学校をつなぎ、学校への愛着を育てることを目的に、地域の祭りとしての定着化を目指して同校PTAとチームまつ協働体と連携して開催。当日は千人を超える人が来場し、ステージイベントや屋台など、学校で開かれた祭りを楽しみました。



イベントの最後には、イベント会場の体育館でプロジェクションマッピングが行われ、色鮮やかに飾られた会場に来場者の感嘆の声が響き渡りました

小林市・高原町・小林警察署で連携 安全運転 SuDDO 運動を推進

7月23日、小林市・高原町・小林警察署の3者が「安全運動 SuDDO 運動連携協定」を締結しました。SuDDOとは、西諸弁「～すっど」に掛けて、事故防止のために注意すべきポイントなどの頭文字など※を表したもの。今後、市と町は来庁者へ、警察は巡回連絡などの機会に地域住民に対して周知を図るなど、運動を推進していきます。



※ Su…スマート運転（環境や状況にあわせた適切な動作）、D…ダイヤモンド前減速、D…ディフェンス防衛運転（かもしれない運転）、O…交通事故〇

この夏をチカラに変えて 進め小林の子どもたち

市と連携協定を結ぶ東京大学先端科学技術研究センターの協力で、小林高校の生徒が現地研修プログラムに参加しました。参加したのは小坂虎太郎さん、吉村昇龍さん、山内祥太さん、辛島漱一郎さん。

4人は、先端技術を活用することで年齢や性別などを越えて楽しめる「超人スポーツ」の開発・運営などを手掛ける会社や、東大

日本最高峰の学びを 高校生4人が体験

先端研の稲見昌彦教授の研究室を見学したほか、先端研内外のさまざまな専門家が分野を越えて話し合うイベント「先端研クロストーク」を受講。

photo1 稲見教授から研究室の説明を受ける4人 2 歩行が困難な人たちが自分の足でペダルを漕いでリハビリできる車いす「COGY」を体験 3 稲見研究室に所属する大学院生との研修の様子



Photo 4 段ボールを組み合わせて、教室で寝床やベッドを制作 5 30°ある人形を声掛けしながら担架に移し替え、搬送する訓練

貴重な体験できてよかった

今回のような避難所運営訓練は初めて体験しました。実際に地震が起きたときにどのように動けるかは、訓練を体験しているかどうかで全然違ってくるのではないかと思います。今回、学校のみならず訓練を体験できてとても良かったです。



野尻中3年 深野木 悠さん

実践的な訓練で
大規模災害に備える

野尻中学校では、夏休みを利用し、3年生を対象にした避難所運営訓練を実施しました。大規模災害時の行動を学んで知識を深め、地域貢献できる人材を育てようとPTAが主催。

午前は、危機管理課や消防団による講話・体験に加え、小林市災害ボランティアコーディネーターの指導を受け新聞紙を使った防災スリッパ製作やロー

プワークに挑戦しました。また、午後からは、段ボールを使って寝床やベットの製作したほか、けが人を見つけた担架で搬送する災害救助訓練を行うなど、災害時に役立つ実践的な知識を身に付けました。



消防団ドローン隊からドローンの操作について教わる生徒たち

例年にない暑さとなった今年の夏。取材先で出会ったのは、暑さをものとも

しない、小林の、そして日本の未来を背負う子どもたちの頼もしい姿でした。この夏の「学び」をチカラに変えて、未来へ進め小林の子どもたち！

この夏の学びがきっと、
未来を創るチカラになる

地域共生社会の実現のために 第1回地域づくり福祉大会を開催

8月17日、第1回地域づくり福祉大会が開かれました。多様化、複雑化が進む地域福祉をめぐる課題を共有し、住民相互の助け合い活動を行う福祉協力員の委嘱を行い、本市の地域福祉の充実を図ることを目的に社会福祉協議会が開催したもの。参加した地域福祉関係者ら約230人は、地域で支えあう福祉のまちづくりへの理解を深めました。



地域を見守る福祉協力員の委嘱状交付式のほか、「住み慣れたこの地で生きる」を題目とした九州大谷短期大学の中村秀一教授の講演が行われました

まちあるき×ボランティア

8月10日、小林市ボランティア連絡協議会が「まち歩き」と「ごみ拾い」を掛け合わせたボランティア活動を行いました。活動には市内の小中高生や区長など約60人が参加。環境美化に汗を流しながら幅広い世代が交流を深めました。



ゆ〜ぱるのじりで能登応援フェア

8月10日から、道の駅ゆ〜ぱるのじりで令和6年度能登半島地震復興支援を目的とした「がんばろう！能登応援フェア」を開催されました。野尻町商工会と能登町商工会の連携により実現したもので、能登町のお酒や加工品などの特産品販売が行われました。



小学生の発表がきっかけで誕生 新商品「すきメンマ」で地域課題解決

8月6日、須木の新たな特産品「すきメンマ」のお披露目会がありました。開発は、須木小学校児童3人（現在は中学生）の放置竹林問題についての発表がきっかけ。発表を聞いた地域商社(株) Bridgethegapの青野雄介代表が課題解決と特産品創出につなげようと、延岡市でメンマの製造・販売を手掛ける会社に相談し、商品化が実現しました。



メンマは、ピリ辛ラー油味とコチュジャン味のおむすびとして、すきむらんど内「おこめ処お結びや」で提供中。後日、メンマ単品でも販売予定です

世代や立場を越えた交流の場 「すこっぷハウス」で心理学講座

8月10日、心理カウンセラーの鍵野正則さんを招き、「育兒・夫婦・人間関係に役立つアドラー心理学」をテーマにした講座が開かれました。鍵野さんは、アドラー心理学の基本となる理論などについて具体例を踏まえて解説。現在抱えている問題への考え方などについての質問も出るなど、参加した25人は熱心に耳を傾けていました。



講座が開かれた「すこっぷハウス」は、世代や立場を越えてさまざまな人が交流できる居場所として昨年8月に整備。今後も毎月講座が予定されています

戦争を起こさないため何ができるか 小林小で学童疎開学ぶ紙芝居

8月1日、小林小学校で戦争に関する紙芝居の読み聞かせが行われました。戦争を身近に感じ、平和の大切さを学んでほしいと企画されたもので、紙芝居は同校が太平洋戦争中に宮古島からの学童疎開を受け入れていた実話を基に、沖縄県の宮古島市総合博物館が制作。子どもたちは戦時中の厳しさが描かれた物語に見入っていました。



6年の温水華蓮さんは「親と離れての生活は大変な苦労だったと思う。平和に感謝し、戦争を起こさないために何ができるか考えたい」と話しました

地域包括ケア推進サポーターを養成

8月1日、中央公民館で地域包括ケア推進サポーター養成講座が開かれました。全3回の最終日となった講座では、ヒューマン工房 待木美奈子代表を講師に招いた講演や各地区サポーターの活動紹介の後、参加者に修了証書の授与が行われました。



「働く」を学ぶバスツアーを開催

8月6日、租税教室バスツアーが（公社）小林法人会青年部主催で開かれ、小林高校生16人が参加しました。宮崎市のa-project株式会社や株式会社サザンクロスシステムズを訪問。施設を見学したり実際に働く人たちの話を聞き、「働く」ことへのイメージを膨らませました。



約300年継承されてきた岩戸神楽 「長刀の舞」など勇壮な舞披露

7月30日、岩戸神社（堤地区）で岩戸神社六月灯がありました。はじめに神事が行われ、続いて岩戸神楽保存会（田原治男会長）が、約300年継承されてきた岩戸神楽を奉納。同神社の祭神タヂカラオノミコトにちなむ「天の岩戸開き」、勇壮な「剣の舞」、「長刀の舞」の3番が披露され、会場からは大きな拍手が送られていました。



「長刀の舞」の最後に舞い手がのれん縄を長刀で切ると、会場からは大きな拍手が。神楽奉納後は、せんぐまきや婦人会による踊りなども行われました

一貫性・継続性ある小林教育を実現 教職員ら対象の教育フォーラム開催

7月31日、文化会館で市内小・中学校教職員などを対象に教育フォーラムが開かれました。教育の現状や課題を把握し一貫性・継続性のある教育を実現するためのもので、今年度はキャリア教育がテーマ。日本電気株式会社の大工原忠相さんの講演や、「子どもたちの未来を切り拓く小林のキャリア教育」をテーマにしたトークセッションも行われました。



トークセッションでは、学校と地域との協働の重要性や小・中学校の先生同士でゴールを共有し連携していく必要性などについて意見が交わされました

市内中学校部活動



①小林中学校
男子バスケットボール部
②小林中学校新体操部
③小林中学校陸上駅伝部
④小林中学校
男子ハンドボール部
⑤三松中学校陸上部
⑥⑦三松中学校
男女ハンドボール部

全国中学校体育大会

【個人競技】(学年) ※敬称略

▼小林中学校陸上駅伝部

内村凌(3年)／田中優哉(2年)

▼三松中学校陸上部 脇田蓮矢(3年)

九州中学校体育大会

【団体競技】

▼小林中学校男子バスケットボール部▼小林中学校男子
ハンドボール部▼小林中学校新体操部▼三松中学校男子
ハンドボール部▼三松中学校女子ハンドボール部

【個人競技】(学年) ※敬称略

▼小林中学校陸上駅伝部

内村凌(3年)／富満丈積(3年)／若松幸音(3年)

／田中優哉(2年)／小河内優駿(2年)

／田畑李心(3年)／奥原楓(3年)／河島椿(2年)

／新倉佐彩(2年)／佐々木菜都(2年)／肥後来美(1年)

／上甕飛鳥(1年)／黒木莉衣沙(1年)

▼三松中学校陸上部 脇田蓮矢(3年)

ー全国・九州大会への意気込みー

・小林中学校男子バスケットボール部 松田颯音さん(3年)「九州大会では一戦一戦を大切に勝ち上がり3位以内に、全国大会出場を目指します」

・小林中学校新体操部(男子) 中原颯思さん(3年)「支えてくれた人々への感謝の気持ちを忘れず全力で演技したい」／(女子) 増田心愛さん(2年)「初めての九州大会。一人一人がベストを尽くして頑張りたい」

・小林中学校陸上駅伝部 富満丈積さん(3年)「九州大会では男子総合優勝を目標に、一人一人が個々の自分越えができるように頑張りたい」

・小林中学校男子ハンドボール部 下村佳久さん(3年)「最終目標である全国大会出場に向けて、まずは九州大会でベスト4を目指し、全員で協力して頑張りたい」

・三松中学校陸上部 脇田蓮矢さん(3年)「九州大会では優勝。全国大会では決勝進出を目指し、頑張ります」

・三松中学校男子ハンドボール部 轟木漣子さん(3年)「このチームでプレーできることに誇りを持ち、最後まで諦めず全力でプレーし全国大会に出場します」

・三松中学校女子ハンドボール部 塚田愛璃さん(3年)「県代表の誇りを持って全力でプレーします」

九州大会・全国大会に出場する市内団体が宮原市長を表敬訪問 宮崎県代表の誇りを胸に、大会での活躍を誓う

各種県大会を勝ち抜き、九州大会や全国大会に出場を決めたスポーツ少年団や中学校部活動の選手たちが宮原市長を表敬訪問。県大会の報告と上位大会への意気込みを話し、市長が激励しました。

市内スポーツ少年団



①小林 JVC ②小林ハンドボールドスポーツ少年団
③小林男子バレーボールドスポーツ少年団 ④小林伝志館道場
⑤永久津少女バレースポーツ少年団

小林JVC

6月に開催された第44回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会(混合の部)で優勝し、8月6日から9日まで東京都を中心に開催される、第44回全日本バレーボール小学生大会全国大会に出場します。福元大雅さん(小林小6年)は「精一杯プレーし、全国制覇をすることが目標」と意気込みました。

小林ハンドボールドスポーツ少年団

6月に開催された第35回宮崎県小学生新人ハンドボール大会兼第37回全国小学生ハンドボール大会予選大会で男子の部・女子の部ともに優勝し、8月1日から4日にかけて京都府で開催される第37回全国小学生ハンドボール大会に出場します。男子の部に出場する南優之介さん(小林小6年)は「県の代表として自覚を持ち、チーム一丸となって頑張ります」、女子の部に出場する柳田愛叶さん(南小6年)は「全国大会では声出しとディフェンスの間を固めることを頑張り、優勝を目指します」とそれぞれ大会への想いを話しました。

小林男子バレーボールドスポーツ少年団

6月に開催された第44回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会で3位となり、8月23日から25日にかけて佐賀県で開催される2024年度名鉄観光カップ第39回全九州小学生バレーボール優勝大会 inSAGAに出場します。内嶋琉海さん(南小6年)は「九州大会で上位を目指し、みんなと全力で頑張りたい」と話しました。

小林伝志館道場

6月に開催された第39回宮崎県少年剣道錬成大会で勝ち上がり、7月30日に東京都で開催される第58回全国道場少年剣道大会(小学生の部)に出場します。上原杏夏さん(三松小6年)は「得意技の胴を中心に試合を組み立てて、昨年の先輩たちと同じ3試合まで残ることが目標。保護者や先生に良い報告がしたい」と話しました。

永久津少女バレースポーツ少年団

6月に開催された第44回全日本バレーボール小学生大会宮崎県大会で3位となり、8月23日から25日にかけて佐賀県で開催される2024年度名鉄観光カップ第39回全九州小学生バレーボール優勝大会 inSAGAに出場します。黒仁田夕莉さん(永久津小6年)は「みんなで心を合わせて、優勝目指して頑張りたい」と話しました。



循環型農業を目指して 野尻町有機センターの役割

循環型農業とは？

米や野菜などの農産物を収穫した後のわらや収穫くずが家畜の餌となり、その家畜のふんから作られた堆肥で農産物が育つ。こうした有機資源を循環させながら自然環境への負担を軽減し農産物を生産する営みは、動植物の生態系が維持され、持続性が高い理想的な農業体系といえます。

家畜の排せつ物を良質な完熟堆肥に

野尻町有機センターは、こうした循環型農業を目指した取り組みの一端を担う施設です。畜産業が盛んな小林市で大量に発生する家畜のふん尿などの排せつ物

を適正に処理し、完熟堆肥化。その堆肥の利用を推進することで、環境汚染の防止などにつながっています。

有機資源を循環させて持続可能な農業を実現

近年、肥料価格の高騰などの影響で化学肥料から有機肥料への転換が全国的に進められている中で、未発酵の堆肥を無償または安価に調達する農家も増加しています。しかし、生ふんや未熟な堆肥を使用すると、土壌中での急激な分解により作物の生育に悪影響を及ぼす可能性があります。私たちの「食」を支える農業が将来にわたり持続可能なものとするためにも、未熟な堆肥を使用せず、成

●問Ⅱ野尻庁舎地域振興課 Tel.44・1100（代表）



SAPとは…

Study
for
Agricultural
Prosperity

それぞれの頭文字を取った言葉で「農業繁栄のための学修」という意味を持つ

を知っていますか？

●問＝農業振興課 Tel.23-0300

担い手育成と農業後継者の確保が目的の団体「SAP」

みなさんはSAPという団体を知っていますか。SAPは昭和37年、宮崎県に誕生した若手農業者団体。深刻な高齢化が進む中、担い手の育成と農業後継者の確保を目的とした団体で、小林市では「小林市SAP会議」という名称で20代から40代前半までの10人が活動しています。

営業形態は露地野菜をはじめ、茶や水稲、畜産業などさまざまなですが、会員同士が親睦を深めながら情報交換を行い、会員自らの学修と実践の積み重ねで、それぞれの農業経営の向上のために活動しています。

実際にどのような活動に取り組んでいる？

農業経営における身近な課題の解決や、より良い技術の習得に向けたプロジェクト

クト活動を中心に、消費者や他団体との交流、地域ボランティア活動などを行っています。

活動①「プロジェクト活動」

栽培技術の向上や農業削減、販路開拓といったものから、地域交流までさまざまなプロジェクトが全国で取り組まれています。

小林市SAP会議では、より良い農業経営を実現するために、個人やグループで経営上の問題解決などに取り組んでいます。

活動②「他産業者との交流」

同年代の地域内外の農業者や他産業者との交流を深めることで、情報交換を行い、親睦を深めています。

活動③「地域交流」

地域のイベントなどで野菜や肉の加工品などの即売会を行い、地域の人たちとの交流も深めています。今後も、こうした活動を通じて、日本や世界で活躍する農業者を地域で育てるために活動を続けます。

～ INTERVIEW ～



小林市 SAP 会議 会員
酪農家
ぬくみず しょう
温水 聖 さん (26)

同年代の農家との交流が広がる

県外の専門学校で農業について学び、卒業後すぐに家業であった酪農の道に進みました。SAPには、先輩農家の勧めで加入しました。当時は知り合いの農家も少なかったため、同年代の農家との交流が広がり、非常に助かりました。

現在、小林市SAP会議では、経営の勉強会やプロジェクト活動などを中心に活動しています。自分と異なる地域や業種の人たちの経営方法などを聞くことができる貴重な機会で、とても役に立っています。特に就農直後は相談先が無く、経営などに悩みを抱えている人も多いと思います。小林市SAP会議に入り、私たちと一緒に農業経営について学びながら、交流を深めませんか。

▼プロジェクト活動の様子



▼西諸地区のさまざまな場所で即売会



若手就農者の新規会員を募集中！
一緒に地元の農業を盛り上げませんか？
●問＝農業振興課 Tel.23-0300

分の安定した堆肥の使用を推進することが重要です。昨年12月には市内8つの小・中学校に製造している堆肥を配布するなど、地域全体で有機資源を循環させる大切さを広め、地域農業生産基盤の安定を図ることも、持続可能な農業の実現を目指します。



▲市内小中学校8校に120袋の堆肥を配布

野尻町有機センター

完熟堆肥「うぐいす有機」を使ってみませんか

●問＝株式会社のじりアグリサービス Tel.44・1850

うぐいす有機は、市内の畜産農家から収集した牛ふん・豚ふん・鶏ふんを6対2対2の割合で混合し、おおそ4カ月の期間をかけて作り上げた良質な完熟堆肥です。市内では、梨・ぶどう・栗・メロン・きゅうり・ピーマン・花きなどの生産農家が使用しており、幅広い農作物に使用できます。



▲袋物やばらの製品を製造しており、水田、畑、ビニールハウスなどには散布サービスを行っています

▼価格などの詳細情報は株式会社じりアグリサービスのホームページで確認できます



入学予定の学校	日程	健康診断の実施場所
細野・東方小学校	10月8日（火曜）	文化会館
南・永久津小学校	10月22日（火曜）	文化会館
西小林・幸ヶ丘小学校	10月25日（金曜）	文化会館
須木小学校	11月1日（金曜）	須木総合ふるさとセンター
野尻・栗須・紙屋小学校	11月5日（火曜）	野尻庁舎2階
三松小学校	11月8日（金曜）	中央公民館
小林小学校	11月12日（火曜）	文化会館

**令和7年度
新入学児童の
就学時健康診断**

令和7年度に、小学校へ入学する児童の健康診断を実施します。

介護の届け出制度を活用しませんか

介護福祉士などの資格を持つ人は、離職時に届け出ることが努力義務となっていますが、在職中も届け出ができることを知っていますか。

届け出することで、福祉の仕事に関する最新情報の提供、資格取得や研修などによるスキル維持・向上のサポート、最適な仕事探しの支援などを継続的に受けることができます。

また、今なら届け出した人にもれなくオリジナルトートバッグをプレゼントします。

◆対象の資格・研修
介護福祉士／介護職員初任者研修／介護職員実務者研修

◆時間
13時30分開始予定
（受付13時～13時30分）
※受付順に健診を行うものではありません

◆その他
詳細は、10月初旬までに発送する文書を確認ください。

●問・学校教育課
TEL 23・0424

10月1日から 児童手当の制度が新しくなります

●問＝こども課 TEL 23-1278

- ◆改正の内容**
- ・所得制限の撤廃
 - ・支給期間を中学生までから高校生年代まで延長
 - ・第3子以降の支給額を3万円に増額
 - ・支払月を年3回から年6回に増加（偶数月）
- ※制度改正後の最初の支給は令和6年12月です

- ◆改正に伴い申請が必要な人**
- ・所得超過により小林市で児童手当・特例給付を受給していない人
 - ・高校生年代の子を養育している人
 - ・第3子加算の算定対象となる大学生年代の子を養育している人

- ◆必要書類**
- ・受給資格者の保険証
 - ・受給資格者の通帳かキャッシュカード
 - ・手続を行う人の身分証

- ◆受付期間**
8月19日～9月30日 8時30分～17時15分
※9月5日（木曜）、19日（木曜）はこども課（本庁舎）のみ19時まで延長受付

- ◆受付場所**
- ・こども課（本庁舎）
 - ・須木庁舎住民生活課
 - ・野尻庁舎住民生活課

▼詳細はコチラ



旧ホームヘルパー養成研修1級・2級／旧介護職員基礎研修／生活援助従事者研修／入門的研修 など

●問・県社会福祉協議会
宮崎県福祉人材センター
TEL 0985・32・9740

▼詳細はコチラ

Sマークは「安全・清潔・安心」の証

理容店、美容店、クリーニング店、飲食店などのお店選びは厚生労働大臣認可のSマーク登録店で。登録店は、事故が発生した場合の損害賠償や施設の設備内容、仕事やサービスの内容について信頼できるお店です。

●問＝県生活衛生営業指導センター
TEL 0985 - 25 - 1466

市公式 LINE 友だち募集中♪

右下のQRコードを読み取り、「追加」ボタンを押して登録完了です。登録後、ホームボタンから簡単な受信設定をすることで、あなたが必要な情報だけを受け取ることができます！



保健・福祉

ゲートキーパー養成講座参加者募集

小林市の自殺死亡率は、全国、県と比べ高い水準が続いています。周囲で悩んでいる人への声のかけ方や話の聴き方を学び、誰も自殺に追い込まれることのない居心地の良い小林市を目指して、できることから始めませんか。

◆ゲートキーパーとは
悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要な支援につなげ、見守る人のこと

◆日時
①10月1日（火曜）
13時30分～16時30分
②11月8日（金曜）
13時30分～16時30分

◆場所 市保健センター

◆講師 ヒューマン工房代表 待木美奈子氏

◆内容 ゲートキーパーの役割、上手な話の聴き方

◆定員 30人程度

◆費用 無料

◆申込方法 電話

- ◆申込締切**
▼日程① 9月19日（木曜）
▼日程② 10月29日（火曜）
- 申・問・健康推進課**
TEL 23・0323

小林市戦没者追悼式

先の大戦における戦没者の方々を追悼するとともに、世界恒久平和を祈念します。忠霊塔は門扉を開放して祭壇を設置します。

◆日時 10月4日（金曜）
10時～

◆場所 文化会館大ホール

※忠霊塔開放は8時～15時

●問・福祉課
TEL 23・0111

中核機関つなご啓発イベント

「住み慣れた西諸で、すべての人が自分らしく暮らすために」をテーマに権利擁護や成年後見制度についての普及啓発イベントを開催します。

◆日時 9月20日（金曜）
13時30分～16時

◆場所 文化会館大ホール

第57回福祉しよっぷ Emi-Asu

障がいについての理解促進を図るため、障がい福祉サービス事業所などで作った製品を展示・販売します。

◆日時 9月19日（木曜）10時～13時
※商品が売り切れ次第終了

◆場所 市役所本館1階 多目的スペース

◆展示・販売商品
クッキー、パン、ドレッシング、加工食品、季節の野菜・果物、手工芸品、木工品など

●問＝福祉課 23 - 0111



- ◆参加費** 無料
- ◆内容**
▼障がい福祉施設による演奏や出店
▼基調講演
「身元保証人は必要か？身寄りのない方の支援を地域で支える」
- ・講師 萩・山口法律事務所 山口正之弁護士
- ▼実践報告**
相談から後見人等が選任されるまでの流れと支援
- ※手話通訳、要約筆記あり
- 問・中核機関つなご**
TEL 27・3358

案内

令和6年 全国家計構造調査

◆全国家計構造調査とは
家計における消費、所得、資産と負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布、消費の水準、構造などを全国的、地域別に明らかにすることを目的とした重要な調査です。

◆調査期間
10月～11月

※調査員が調査対象地区内の世帯を訪問します

◆調査対象
無作為に抽出された調査区内に居住している世帯

・細野地域（西町一区の一部、永田町区の一部）
・堤地域（北堤区の一部）
・北西方地域（北西二区の一部）

◆調査内容
年収・貯蓄など、世帯票、家計簿（一部の世帯）

◆調査方法
①調査対象地区内の世帯へ「統計調査員証」を携帯した調査員が指導員が訪問

9月21日は「認知症の日（世界アルツハイマーデー）」です

9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」として、普及啓発を行います。期間中は市役所本庁舎を啓発のイメージカラー『オレンジ』にライトアップするほか、庁舎をオレンジの花で彩ります。家族や周囲の人と認知症について話すきっかけにしてください。

- ◆市役所本庁舎ライトアップ期間**
9月19日～9月26日 19時～21時
- 問＝長寿介護課** TEL 23 - 1140



- ②調査対象となる世帯へ調査票を配布
- ◆注意事項**
調査員が調査料の名目で金品を要求したり、振り込みを求めたりすることは一切ありません。そのような事があった場合には警察署に通報してください。
- 問・企画政策課**
TEL 23・0456

●納付・納税・年金 ほけん課 Tel 23-0116 税務課 Tel 23-0115 市民課 Tel 23-1112

種 類	月 日	場 所	時 間	備 考
休日納付・納税相談窓口	9月15日(日)	ほけん課・税務課窓口	8:30～17:15	※毎月第3日曜日
年金移動相談 ※要予約	9月19日(木)	市役所本館1階 相談室	10:00～15:00	予約:都城年金事務所

※年金移動相談は、事前に都城年金事務所 (Tel 0986-23-2571) に電話予約をお願いします

二原遺跡公園公開日

9月15日(日曜)
時間 9:30～11:30

農地移動申請

場所 農業委員会事務局
時間 9:00～17:00
受付開始日 9月4日(水曜)
受付締切日 9月10日(火曜)

税・保険料の納付期限

※納期限は9月30日(月曜)です

固定資産税・都市計画税 3期
介護保険料 3期
国民健康保険税 3期
後期高齢者医療保険料 3期

これは何ごみ? 答え

傘は「燃やさないごみ」
そのまま、市指定のごみ袋で出せます。長いものは袋から飛び出ていても、途中で袋の取手を結んで出してください。

●問=生活環境課 Tel 23-8122

●人権・行政・なやみごと相談 市民課 Tel 23-1141

月	日	曜	種 類	会 場	時 間
9	10	火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階会議室4	10:00～15:00
	17	火	人権・なやみごと	市役所東館1階会議室4	
	24	火	人権・なやみごと	市役所東館1階会議室4	
10	1	火	人権・行政・なやみごと	須木総合ふるさとセンター	
	3	木	人権・行政・なやみごと	野尻町保健福祉センター	
	8	火	人権・行政・なやみごと	市役所東館1階会議室4	

ひとりで悩まずお話しください

◆こころの電話相談

NPO 法人こばやしハートム 月 20時～22時 ☎27-1850

◆お悩み傾聴ダイヤル	下記日時以外		☎0570-783-755
◆こころの電話相談	月～金	9時～19時	☎0985-32-5566
◆NPO 法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センター	日 月 水 金	20時～23時	☎0985-77-9090
◆NPO 法人宮崎いのちの電話	月 水 金	21時～4時	☎0570-783-556
	日 火 木 土	18時～4時	

その他の相談会や集い(参加希望者は事前に連絡ください)

小林保健所の相談会 (場 小林保健所 問 23-3118)	小林こすもす家族会
▼アルコール家族教室 (アルコールで悩む本人・家族)	精神障がい者とその家族の悩み
日 9月17日(火曜) 時 13時30分～15時30分	や思いを一緒に話ませんか
▼ひきこもり・こころの健康相談	日 毎月第2水曜
日 9月10日(火曜) 時 13時30分～15時30分	時 13時30分～15時30分
▼わかちあいの会 (自死遺族のつどい)	場 市民活動支援センター
日 毎月第4木曜 時 13時～15時	問 Tel 080-6423-5858

リサイクル日程

生活環境課 Tel 23-8122
小林市清掃工場 Tel 24-0959
須木住民生活課 Tel 48-3132
野尻住民生活課 Tel 44-1100

区	9月	10月
水流迫、東方1・2	3	1
真方1・2・3	2	2
南西2・3、通り町	4	3
南西1の西、南西4本町、新生町	5	4
南西1の東、種子田	6	7
北西1・3、緑町	9	8
北西2、坂元	10	9
西町1・2・3 南島田	12	10
仲町、永田町、後川内	11	11
細野2・3、南真方	20	15
細野1、南真方西	25	24
南真方東 上町・上町西	26	25
上町中、上町東 上町北	27	29
西堤、南堤	30	30
北堤	30	31
野尻地区 (第3日曜)	15	20
須木地区 (第4日曜)	22	27

今月の これは何ごみ?



「傘」
(答えは左のページ)

●育児・親子健康日程

問:こども課 Tel 23-4319

種 類	月 日	時 間	会 場
妊婦健康相談 母子健康手帳発行	毎週月曜 (祝日除く)	受付 9:00 ～ 11:30	小林市保健センター
キッズフロア	10月2日(水)	受付 9:30 ～ 11:00	
もぐもぐクッキング (要予約)	9月18日(水)	受付 13:45 ～ 14:00 開催 14:00 ～ 15:30	
歯っぴ～教室(要予約)	10月8日(火)	受付 13:00 ～ 13:30	
赤ちゃん健康診査	9月19日(木)	※個別に案内しています	
1歳6か月児健康診査	10月3日(木)		
3歳児健康診査	9月12日(木)		

●にここ運動教室(13:30～15:30)

問:社会福祉協議会野尻支所 Tel 44-1206

場 所	9月	10月
野尻町保健福祉センター	10日(火)、24日(火)	1日(火)、8日(火曜)

●健康相談

問:健康推進課 Tel 23-0323

月	日	曜	種 類	会 場	時 間
平日(祝日を除く)			健康相談 (体組成計・血管年齢測定)	小林市保健センター	8:30～17:15 (要予約)
9	12	木	まちの保健室	まちなか松栄 イートインスペース	13:30～15:30
	17	火	まちかど健康相談	コープみやざき 小林店	
	26	木	まちの保健室	まちなか松栄 イートインスペース	
10	2	水	まちかど健康相談	ブラッセだいわ 小林店	

日曜祝日在宅当番医(原則として9時から17時)

月	日	曜	在 宅 医	電話番号
9	15	日	西小林診療所	27-1034
			沖内科・小児科医院	22-4043
	16	月	宮崎医院	22-2841
	22	日	桑原記念病院	22-4138
			みまつこどもクリニック	22-1234
	23	月	前田内科医院	22-5802
			小林中央眼科	23-5300
	29	日	すわクリニック	22-6489
			よしむら循環器内科クリニック	27-3339
10	6	日	内村病院	23-2575
			和田クリニック	23-5653

※変更になる場合もありますので、各医療機関にご確認ください

きずな協働体通信

このコーナーでは、市内9地区で設立された「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

校区区長会と連携して防災訓練を実施しました！



@TEAMMIMATSUKOT



7月15日、チームみまつ協働体と三松校区区長会が連携し、三松校区の防災訓練を実施しました。

今回は、①大規模災害時に実際に救助活動を行った元自衛隊隊員の講話、②消防署員によるAEDを使用した心肺蘇生訓練、③防災士による防災資機材の取扱説明の3つの部門に分かれ、訓練を行いました。

多くの地域住民の参加があり、中には中学生の参加者も見られるなど、地域の方々の防災に対する意識の高まりを実感しました。

また、きずな協働体と校区区長会の結束が深まったことで、今後につながる有意義な取り組みとなりました。

チームみまつ協働体
× 自治会

小林小校区
まちづくり協議会

吉都線を利用した小学生対象のイベントを開催！



鉄道を利用する機会が減少する中、吉都線の利用促進を図り、乗車体験を通して小学生に楽しい思い出を作ってもらおうと、8月8日に「夏休み！吉都線大冒険」を開催しました。

小林小6年生の希望者と小林小放課後児童クラブ入会児童を対象に、小林駅から吉都線に乗り、えびの市の京町温泉駅で下車。フリーアナウンサーの田代剛さんの講話や、吉都線ベーパークラフトの工作活動を体験しました。

中には初めて吉都線に乗車する参加者もあり、鉄道の乗車体験や田代さんの軽妙な語り口に、参加した子ども達は「楽しかった」「また列車に乗りたいたい」と目を輝かせていました。

本格芋焼酎「すきはるか」数量限定で販売開始！



#SUKIMURAKYOU_KOLHOBU



須木のブランドの須木米と須木で穫れた紅はるか米を100%使用した、地産地消の本格芋焼酎「すきはるか」の販売を、今年度も2千本の数量限定で開始しました。

「すきはるか」は、飲みやすくおいしいとの声を多くいただき、昨年も大好評で多くの方に飲んでいただきました。

紅はるかのは優しい甘みが際立ち、飲みやすさ、おいしさが増した今年度の「すきはるか」はいかがですか。

2千本限定での販売になりますので、ぜひお早めにお買い求めください。

●問 〓 すきむらづくり協議会
Tel 48・3451

すきむらづくり
協議会

教育委員会

令和6年度 小林市総合文化祭

今年も芸術の秋のシーズンに、小林市総合文化祭（作品展・芸能祭・音楽祭）を開催します。作品展では市民を対象に出品者を募集しています。小林・須木地区在住者は小林会場、野尻地区在住者は野尻会場に作品を展示します。

さまざまな作品や芸能文化などに触れ、芸術の秋を感じませんか。

問 = 社会教育課 Tel 22 - 7912



作品展

11月2日(土)・3日(日)

小林会場 (市民体育館、中央公民館)

開催日時

11月2日(土曜) 9時～20時

11月3日(日曜) 9時～16時

募集内容

絵画、書道、写真、彫刻、陶芸、木工、手芸、竹細工、パッチワーク、生け花、盆栽、短歌、俳句 など

申込締切

10月10日(木曜)

※短歌・俳句は9月26日(木曜)

作品搬入

11月1日(金曜) 13時～19時

※生け花は21時まで

作品搬出

11月3日(日曜) 16時～18時

11月5日(火曜) 9時～12時

申・問

社会教育課 Tel 22 - 7912



野尻会場 (野尻町農村環境改善センター)

開催日時

11月2日(土曜) 9時～17時

11月3日(日曜) 9時～15時

募集内容

絵画、彫刻、写真、書道、手芸、陶芸、盆栽、生け花 など

申込締切

10月10日(木曜)

作品搬入

11月1日(金曜) 13時～18時

作品搬出

11月3日(日曜) 15時～17時

11月5日(火曜) 9時～12時

申・問

社会教育課 Tel 22 - 7912



芸能祭

11月4日(月・祝)

開催日時

11月4日(月曜・振休)

開場 13時～、開演 13時30分～

会場

文化会館大ホール

対象種目

日本舞踊・剣詩舞・民謡などの邦舞踊・フラダンス・バレエ・ヒップホップ・ジャズダンス・創作ダンスなどの洋舞踊

問 文化会館 Tel 23 - 7400

音楽祭

11月10日(日)

開催日時

11月10日(日曜)

開場 12時30分～、開演 13時～

会場

文化会館大ホール

対象種目

コーラス・ピアノ・吹奏楽・管弦楽・箏・三味線・民謡・大正琴・詩吟 など

問 文化会館 Tel 23-7400

小林市立図書館
問=TEL 22-7913

図書館からのお知らせ

★新刊本の入荷
は毎週土曜

～一般書～



『日本の郷土料理帖
47 都道府県の伝えたい味』
著者：大瀬 由生子
発行：河出書房新社

～一般書～



『日月潭の朱い花』
著者：青波 杏
発行：集英社

休館と開館時間

【本館】毎週月曜は休館

◆開館時間 9時～19時 ※日曜と祝日は17時まで

【須木分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 9時～17時

【野尻分館】毎週月曜と祝日は休館

◆開館時間 10時～18時30分 ※日曜は17時まで
毎月1日は館内整理日のため全館（本館・須木・野尻）休館

県立図書館の本を市立図書館で借りれます！

マイラインサービス

市立図書館に読みたい本の所蔵が無くても、県立図書館に所蔵がある場合に借り寄せることができるサービスです。市立図書館カウンターで申し込み・本の受け取り・返却ができます。（配送料はいりません）

検索 県立図書館ホームページか市立図書館カウンターで借りたい本を検索

申込 市立図書館カウンターで申込用紙記入

貸出 県立図書館から届いた本を市立図書館で貸し出し

返却 市立図書館カウンターで返却



さらなるサービス向上を目指して
パレスホテル小林 全館リニューアル



▲ホテルの詳細



新設したランドリールームとユニットバスを入れ替えた浴室

令和4年1月にオープンした「パレスホテル小林」では、さらなるサービス向上を目指し、全館リニューアル工事を行いました。
ご要望の多かった全客室のユニットバス、マッパレス・寝具の入れ替え、ランドリールームの新設を行い、より快適にご宿泊いただけるようになりました。
ビジネスや旅行など、さまざまなシチュエーションで利用いただける客室をご用意しています。



お仕事や帰省など市外からのお客様の宿泊先をお探しの際は、ぜひ利用をご検討ください。

パレスホテル小林では、引き続き弊社の観光推進事業と連携させながら宿泊需要を生み出し、市内への経済効果の波及を目指してまいります。
●問 Ⅱ パレスホテル小林
TEL 25 - 0777

小林まちづくり株式会社

〒886 - 0008

小林市本町16

8時30分～17時30分

（土日祝日除く）

TEL 27 - 3280

Fax 27 - 3257



健幸のまちづくり拠点施設整備

つうしん

vol.19

新市民体育館のモチーフは何？

小林市をイメージしたデザインの新市民体育館！

小林市は霧島連山をはじめとする山々に囲まれ、その山々から湧き出る名水・温泉、カルデラにより形成された「小林盆地」や、その盆地を南北に流れる「岩瀬川」、大淀川の支流にある「櫓の轟」や「ままこ滝」など豊かな大自然に恵まれています。



多くの動植物を育んできた、緑豊かな山々にある「森の木立」をイメージして色と質感を変え、陰影を強調し、勇壮に流れ落ちる「清流の滝」をイメージとした縦ラインを外観デザインの着想としました。



すきむらんどの大吊橋から眺めることのできる「須木の滝（ままこ滝）」

問=建設課 TEL 23-0311

覚えてみよう！使ってみよう！

手話で話そう！

問=福祉課 TEL 23-0111

日常会話で使える手話を毎月紹介します。手話を使うろう者の方とコミュニケーションをとってみませんか？

楽しい

モデル：野尻中3年 岩下友星さん

両手を広げ胸のところで上下に動かします。
※顔を楽しそうに



すみません

モデル：永久津小3年 西種子田 淳さん

- 1 親指と人差し指をつまみ、眉間に当てます。
- 2 おじぎをしながら、つまんだ指先を広げます。



9月は「健康増進普及月間」

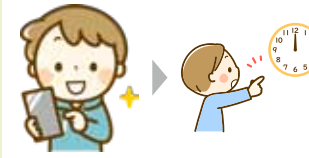
小児生活習慣病を予防して生涯健康な生活を

元気の知恵袋

●問=こども課 TEL 23-4319

小児生活習慣病を予防するためのポイント

ゲームやSNSの時間を決める



早寝・早起き・朝ご飯を心がける



休み時間や休日は外遊びや運動を



糖分・脂肪分の多い食事を控える
※飽和脂肪酸



家事の手伝いをする



子どもの頃に身に付いた生活習慣は大人になってから変えようとしても、なかなか変えられません。正しい食生活と生活習慣について、この機会に家族で話し合ってみませんか。

子どもも生活習慣病になるって知っていますか？
現在、糖尿病、がん、脳卒中などの生活習慣病の罹患が大きな問題となっています。介護を必要とせずに自立して生活ができる「健康寿命」を延ばすために、生活習慣病の予防がとても大切です。
近年では、生活習慣病が小児期にもみられるようにな

り、「小児生活習慣病」といわれるようになりました。
高血圧や糖尿病、脂質異常症などを放置すると動脈硬化の原因となり、将来的に心筋梗塞や脳梗塞を起こすリスクを高めます。
「小児生活習慣病」の予防のために、「食事」と「運動」そして「睡眠」に注意した生活を送りましょう。

画：友安よーいち
第120話「芸術の秋…」



広報紙へのご意見・ご感想を
お気軽にお寄せください



読んだ感想や、こんな情報が知りたい、
この人取材してほしいなどのご意見を、
QRコードからお寄せください。

心の花びら

鉢巻は汗だめの役土用来る（小林合歓の会 淵上律子）
語り部のタエ子忌日と長崎忌（小林合歓の会 海蔵由喜子）
三伏や空調服で球を打つ（小林合歓の会 内田トシ子）
城山の森に風入る南洲忌（小林からくに会 中園直子）
綿雲と秋を奏でて彼岸花（東脇哲郎）
川風の涼しさ求めて岩瀬川（長友正臣）
痴のうずきかいとしき人を呼ぶ声か
夜の病棟に悲しくひびく
（佐枝記子）
オリンピック明るいニュース東の間
地震台風ニュースながるる
（武ナミ子）

SUKU SUKU

ふかのきおとちゃん
深野木 織羽 ちゃん
令和5年7月7日生



笑顔が可愛いおとちゃん1歳になりました！
元気いっぱい育ててくれて家族みんな嬉しいです。
保護者：深野木直人、綾子

すくすく募集中！

【申・問】
・企画政策課 TEL.23 - 0456



申し込みはコチラ！

やまだ みちか ちゃん
山田 三千華 ちゃん
令和5年8月8日生



キラキラした物が大好き。夏生まれで
元気一杯な女の子。健康で思いやりの
ある人に育って欲しいです。
保護者：山田颯馬、芽衣

<編集後記>

新しく国際交流員に着任したロバート
さん。宮崎はおろか九州地方に訪れた
のも初めてとのこと。気さくで優しい
人なので、まちなかで見かけた際は、
優しく声をかけてください（榎田）

今年の夏は、取材先で子どもたちの「学
び」の機会にたくさん出会いました。
特集ではその様子をまとめています。
子どもたちには、この素晴らしい経験
を活かして、未来へ大きく羽ばたいて
ほしいと思います。（前原）



小林の「よかところ」をハッシンしよう！
投稿写真から数点を広報紙で紹介♪

Instagram & 広報こばやし
#ハッシンコバヤシ



▲詳細はコチラ

「ハッシンしたい小林の魅力」を写した写真に「#ハッシンコバヤシ」のハッシュタグを付けて、
Instagramに投稿しませんか。市内で撮影したものであれば、景色、日常風景なんでもOK。

@ipa_log さん



#仲町 #ねこ #ハチワレ

@warabimochi_1020 さん



#鬼灯 #ほおずき

@wakaharu.1104 さん



#宮崎グルメ #リンゴカケルアメ

人のうごき（小林市の人口）

人口	41,177人	(-80、-888)
男	19,188人	(-44、-437)
女	21,989人	(-36、-451)
世帯	19,114世帯	(-11、-49)

令和6年8月1日現在現住人口（前月比、前年同月比）

現住人口：国勢調査人口（実際に居住している人口）をもとに、
その後の転入・転出、出生・死亡などを増減して算出する人口。

火災・救急発生状況

種別	7月	累計	昨年
建物	2	8	+1
林野	0	0	-2
車両	1	1	+1
その他	0	11	+3
救急	263	1323	-18

交通事故発生状況

種別	7月	累計	昨年
人身	9	62	-10
物損	99	540	+24
死者	1	2	+1
負傷者	8	74	-7
全国死者	1409		(昨年同月比 -8)

信念を貫く

日頃から防災対策を

宮原市長のコラム

8月8日に日向灘を震源とする地震が発生し、小林市においても震度5弱の揺れが観測されました。市では速やかに災害警戒本部を立ち上げ、被害状況の調査をはじめとする情報収集にあたるとともに、市内6カ所に避難所を開設しました。幸いにも市内において大きな被害は確認されませんでした。また、南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されたこともあり、防災への備えについてそれぞれがしっかりと確認していく必要があります。

今年のはじめには、能登半島地震により大きな被害があったことも記憶に新しく、さらには今後、台風などの風水害が心配される時期になります。ぜひ、それぞれの防災対策について、今一度考え、備

えてください。
建物の耐震化や家具の転倒防止、避難先の確認、食料品や飲料水等の備蓄の確認も必要です。防災情報について、市では公式LINEや市メール配信サービス、防災ラジオ等で随時情報を発信します。事前の備えに加えて、災害発生後は最新の情報を入手することも重要となりますので、公式LINEや市メール配信サービスの登録、防災ラジオの確認をお願いします。そして、地域で防災訓練等がありましたら、ぜひ参加し、それぞれができることも確認してみてください。

いざという時のため、自助・共助・公助の視点から、みんなで防災に取り組んでいきましょう。

Check!
☑ Volume.30





日本神話の郷 霧島岑神社

9月16日(月) 敬老祭
9月22日(日) 秋分祭
9月26日(木) 臨時祭

小林市細野(庚子) 4937 社務所 TEL 0984-23-0855
(細野中より南へ1.2km直進) 宮司携帯 090-3735-9954

和田クリニック
人工透析センター

超純水透析液を使用した質の高い透析治療
最新機種(全自動透析装置)を用いた安心・安全な透析
送迎応談・随時見学可

TEL 23-5653/Fax 22-5142
〒886-0003 小林市堤 3727 番地 1
<http://wada-clinic.or.jp/> 和田クリニック

**トラクター・重機
トラック・農機具** 見積り無料
どこでも
かけつけます!

古くても、壊れてても、不動車でも
どこよりも **高く買い取る** ことを目指しています!!

広報誌を見て、ご連絡下さった方へ粗品、
又は買取額 10%UP致します。

TEL:0986-77-9092
農機具高価買取専門店 古物商許可 第951040015111号
アヴァンティ 携帯:080-3375-9750
FAX:0986-77-9092
<https://kaitorimiyazaki.jimdo.com>

株式会社 こさの印刷

小林市梅の天神下(山麓線)
TEL.(0984)27-0050(代)
FAX.(0984)27-0051
E-mail:kzn.o@abelia.ocn.ne.jp

(有)宮内葬儀社
MYAUCHI
0120-24-2349
小林市細野 437 番地 4 (市役所前)
TEL 0984-22-2349
西町斎場・上町斎場・ラウム会館

(有)やすかた畳ふすま店

小林店 〒886-0007 小林市真方 384-10
TEL 0984-22-4566
FAX 0984-27-4566
都城三股店 〒889-1914 三股町夢池字前ノ村 4178
TEL 0986-36-3820
FAX 0986-36-8621

通話料無料 (フリーダイヤル)
0120-18-4566
お電話下されば見積りに伺います(無料)

「大切な方とのお別れをお手伝いいたします」
「大小ご希望に応じたご葬儀をご提案いたします」

※ただいまプリエール会員(割引特典あり)募集中です。
詳しい内容はお近くの斎場または各支店でお尋ねください。

JA みやざき プリエール小林

フリーダイヤル	0120-89-0983
プリエール小林 小林斎場	小林市水流迫 644-4 ☎ 23-1084
プリエール小林 野尻斎場	小林市野尻町東麓 1379-1 ☎ 44-0040
プリエール小林 高原斎場	高原町大字西麓 3243-1 ☎ 42-4400

広報こばやしでは、収入確保対策として有料広告を掲載しています。

広告内容は市が推奨するものではありません。掲載している広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。